

協 育



村山市立楯岡中学校

学校だより

令和7年度

10月10日号

文責 校長 加藤

これぞ「かっこいい運動会」

「最初から最後まで全力を尽くした勇者たち」

【10月2日（木）大熱戦の運動会】

「One team, One memory 全力でしか、残せない記憶がある」をスローガンに、楯中伝統の運動会を開催しました。前半戦を終えた総合得点は、赤白ともに300点。最後まで手に汗握る展開となりました。終盤、女子全員による綱引きと男子全員による騎馬戦を制した赤に勝利の女神は微笑みました。会全体を通して、勝敗を超えた次のような「かっこいい姿」が輝き続けました。

- ①たとえ抜かれても、うまくいなくても、最後まで全力で取り組む姿。
- ②仲間を応援し続ける姿。勇気を与え、助け合い続ける姿。
- ③勝敗が決した後には、仲間と頑張りたたえ合う姿。相手をたたえる姿。

全員が最後まで、これらの姿を表現し続けました。特に白組のひたむきさや潔さには、目頭が熱くなりました。終盤の団体種目で苦戦した白組でしたが、決して投げ出すことはありませんでした。3年生の応援団幹部を中心に、「どんな状況になっても、あきらめない」という強い思いが眼差しに、動きに、応援にあふれていました。閉会式の後には、赤白それぞれによるエール交換が行われ、グラウンドに「お互いの健闘をたたえ合う声」と大きな拍手が響きわたりました。楯中生が一つのチームになった瞬間でした。

翌朝の振り返りの時間に「赤も白もかっこよかった。楯中生はかっこいい！」「100点満点の運動会！」と生徒たちに伝えたこの言葉は、この行事の教育的意義を十分に達成できたことへの喜びと「感動をありがとう」という気持ちそのものでした。

かっこいい3年生の集合写真



お忙しい中、応援くださった保護者のみなさま、温かく熱いメッセージを伝えてくださった地域の方々のみなさま、本当にありがとうございました。

「かっこいい楯中生」の「かっこいい姿」



実行委員長:板垣詩乃(しの)さんによる 閉会式でのメッセージより

朝から最後まで、一生懸命に競技に取り組むみなさんの姿をみて本当に感動しました。

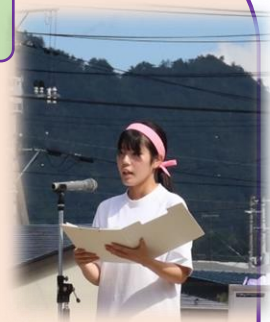
応援の声が響き渡り、最後まであきらめずに走り続け、競技が終わった後には仲間と喜び合う姿など、そうした一つ一つがこの運動会を特別なものにしてくれたと思います。

勝った喜び、負けた悔しさ、それぞれの気持ちを胸に、みんなが全力で挑んだからこそ、今日の運動会がすばらしいものになりました。

また、この運動会を支えてくださった先生方や、見に来てくださった保護者のみなさま、運営にかかわった生徒のみなさんにも感謝の気持ちでいっぱいです。みなさんの協力があったからこそ、無事に終えることができました。

そして、最後に、赤白の組頭・副組頭・応援団長・副応援団長のみなさん、今日まで私たちを引っ張ってくれて、たくさんの笑顔をつくってくれてありがとうございました。みなさんのお陰で、本当に楽しい運動会にすることができました。

この運動会で感じた感動や笑顔を、これからの学校生活にもつなげていけたらと思います。みなさん、今日は本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。



「思いを伝える」「表現力を磨く」

【 少年の主張（弁論大会）・英語暗唱大会での上位入賞続く 】

本校生徒の文化面での活躍も光っています。村山警察署管内の中学生による「少年の主張（弁論大会）」と北村山地区内の中学生による英語暗唱大会で、見事に上位入賞を果たしました。自分の考えを発信する力や授業などをおして培ってきた表現力を堂々と披露し、高い評価を得ました。努力が実った入賞、おめでとうございます。



「少年の主張」優良賞 3年：三澤 真綾（まや）さん

英語暗唱大会 第3位 3年：結城 美寿（みこと）さん

「今年度の前半を振り返って」

【10月10日（金）「前期終業式」の生徒代表の言葉より（要約文）】

前・後期の2学期制をとっている本校では、3日から9日まで三者面談を実施し、学習面や生活面について振り返りました。この半年間、本校の生徒たちは、自分と向き合い、仲間とかかわりながら、少しずつ確実に成長し続けています。10日の終業式では、各学年代表が前期の振り返りと後期への決意を発表しました。これらの思いを受け止め、引き続き生徒一人一人の「今の幸せ」を保障し、「将来の幸せ」につなげる営みを教職員一同、しっかりと積み重ねてまいります。

1年生代表：藤橋 蘭（らん）さん

入学後は新しい生活に慣れないこともありましたが、先輩方に引っ張っていただき、とても楽しく学校生活を送ることができています。特に先日行われた運動会では、1年生の絆がさらに深まりました。短い期間で赤白ともに団結してリレーのバトンパスや学年種目の作戦など、打ち合せを積極的に行っていました。

学習面では、中間テスト、期末テストを終え、小学校とは違う学習内容の難しさや日々の学習の大切さを実感しました。後期に向けて、学年全体で普段の授業に集中すること、10分の休憩時間を守ることが課題です。また、後期には文化祭や生徒会役員選挙などがあります。これから2年生に向けての階段を一段一段みんなで協力して踏んでいき、93名が成長していけるようにしたいです。

2年生代表：松山 千倅（ちさ）さん

私が特に頑張ったことは、勉強と部活動です。勉強面では、3年生への準備期間ということもあり「自学」に力を入れました。そのことで、授業の内容がより頭に入るようになりました。また、日々の授業をしっかりと聞くこと、理解することにも力を入れました。後期は、わからないところはわかるようになるまで、徹底的にやることで定着できるようにしたいです。（中略）

また、私たちの学年は、校内でも話題になるほど元気で明るい学年です。今年はその元気のよさを活かして、クラスや学年、そして学校全体の士気を上げていると感じます。2年生らしさを活かしながら、楯中を盛り上げていくことができた前期でした。後期はさらにメリハリのある学年にしていきたいです。

3年生代表：土田 美月（みづき）さん

前期を通して学年全体が成長したと感じたのは、定期テストの平均点の高まりです。テストを重ねるごとに点数が確実に伸びています。期限前にワークを提出する人やわからないところを友達に聞く人など、少しずつ勉強に向かう人が増えているように感じます。また、行事への積極性も高まっていて、私たちの学年の良いところを伸ばすことができていると感じました。（中略）先週の運動会でも3年生が中心となって全体を引っ張っている姿がありました。それを行事だけでなく、普段の生活にも活かしていけたらと思っています。

後期にはさらに自律した学年になるために、自分で考えて積極的に行動するとともに、一人一人がルール・マナー・モラルを理解して行動できるようにしたいです。また、後期は受験本番です。全員が受験生としての自覚をもって勉強に取り組み、自律した学年に成長できるように頑張りたいです。